

令和5年度
学校だより
9月号

かごまち



令和5年9月 1日
文京区立駕籠町小学校
校長 矢部 明美

つながりの中で学ぶ

校長 矢部 明美

「おはようございます。」日焼けした顔、急に伸びた背丈、少し眠そうな、でも友達と楽しそうに話す声…。たくさんの夏のお土産をもって、子どもたちが学校に帰ってきました。

夏休み中に「人間は『つながる』能力を手に入れて、生き残ってきた特殊な生き物である。野生の生物は産声をあげない。命の危険につながるからである。人間は産声を上げて生き延びてきた。周りにいる母親や大人に『今、生まれたから助けて!』と。この産声により、人々のつながりも始まる。」という文章を読みました。人間には「つながる」感情が不可欠であり、愛情や友情はつながって生きていく人間の安全装置と言えます。つながりが実感できないと脳の中で強い痛みとして感じるそうです。去る8月26日には、本校の校庭で大原青少年健全育成会による盆踊り大会が開催されました。久しく聞くことがなかった太鼓の音に心を躍らせ、見様見真似でも楽しそうに踊る子どもたち、大人たちの姿がありました。コロナ禍を経て、地域や家庭だけでなく、人々の様々なつながりに変化が生じている、と言われることがあります。しかしながら、こうした姿を見ると、開催への感謝とともに、子どもたちにとって学区を含む地域は、子どもたちにたくさんの経験をもたらしてくれるフィールドであると、改めて実感します。

2学期は、1年で一番長い学期です。校外に出かけたり、地域を題材にしたりしながら学ぶ機会があります。子どもたちが、学校で学んだことを地域で試す、生かすことができる。そして家庭で認めてもらってまた意欲をもつ…。地域、家庭、学校のつながりの中でたくさんの愛情を感じながら笑顔で学べるよう、学校として力を尽くしてまいります。今学期もご理解、ご協力をお願いいたします。

9月の行事予定			詳しい時程については、学年だよりをご参照ください。		
日	曜	行事予定	日	曜	行事予定
1	金	始業式 土曜時程4時間授業(全) 避難訓練(引き渡し訓練) 保護者会(123年14:00- 456年14:45-)	16	土	
2	土		17	日	
3	日		18	月	敬老の日
4	月	発育測定(1・2年) 給食始	19	火	全校朝会
5	火	安全指導 発育測定(3・4年)	20	水	児童集会(子どもまつりPR集会) 4時間授業(全)
6	水	発育測定(5・6年)	21	木	
7	木		22	金	子どもまつり 4時間授業(1-3年) 5時間授業(4-6年)
8	金	視力(4年) 5時間授業(全) 委員会※6校時	23	土	秋分の日
9	土		24	日	
10	日		25	月	全校朝会
11	月	全校朝会 視力(1・2年)	26	火	社会科見学4年(目黒清掃工場・水の科学館) 陸上出前授業(6年)
12	火	視力(3・5年)	27	水	かごめ班遊び 4時間授業(全)
13	水	児童集会 視力(6年) 4時間授業(全)	28	木	
14	木	歯科(全) 学びの教室始 音楽特別授業(2-4年)	29	金	クラブ
15	金	クラブ	30	土	

水泳指導が終了しました。

体育主任

本年度も、安全に配慮しながら学年ごとに水泳指導を行いました。また、プールサイドでの水分補給や、暑さ指数をこまめに計測して実施判断をする等、暑さ対策をした上での水泳指導となりました。

子供たちは、水に顔をつける、様々な浮き方をする、腕や脚の使い方を意識して泳ぐ等、自分に合った泳ぎを決めて学習にのぞみました。一人一人が達成感を味わい、楽しく水泳学習に取り組めました。

着衣泳指導では、水着と着衣の状態での水の感じ方の違いから、動きにくさを体感しました。万が一、水の事故に巻き込まれた際には、「浮いて待つ」ことを意識して、命の安全につなげてほしいと思います。

保護者の皆様には、水着の準備、検温などいろいろとご協力いただきありがとうございました。



身を守るための避難訓練

避難訓練担当

避難訓練は、子供たちが災害や防災についての基本的な知識、対応の仕方や心構えについて学び、災害時に的確に対応できる判断力や行動力、すすんで地域の安全に役立つ態度や能力を身に付けることをねらいとしています。訓練では、例えば地震が発生した際は自分がいる場所によって身の守り方を考え行動（教室であれば机の下にもぐる、校庭であれば中央に集まり、頭を守るなど）できるよう、万が一の時に備え毎月行っています。今年度も文京区防災課、警察署、消防署といった各機関と連携しています。防災課は起震車・煙ハウスの体験を、警察署は不審者対応訓練を、消防署は防災の実際をそれぞれ実施、ご指導いただいています。

今年は関東大震災から100年の節目の年です。災害を自分事としてとらえ、状況を見て安全に行動できるよう、これからも訓練を続けていきます。

